

町政を問う!!

10 議員が質問・提案を

外部委託

今ある問題点や課題は
事業継続できる体制を協議



議員 奥本 哲也

問 外部委託のメリット、デメリットについて分析を行っていると思うが、今ある問題点、課題について問う。

答 土居総務課長

平成17年3月から行政改革の推進のための新たな取り組みの中で民間委託、外部への委託を推進している。本庁において300件近い件数、事業費11億6千万円程度となっており。町内事業者に委託するもので道の駅

あつたかふれあいセンター、児童館、あかつき館等の運営管理委託などがある。

メリットとして事業者のノウハウや創意工夫を評価し効率的、効果的に専門的な行政サービスを提供でき、町内の人材確保や雇用にも繋がっている。デメリットとして、運営自体が変わる可能性があり、ノウハウの蓄積、事業の継続性が確保されないことがある。

継続的に業務を行って行くことは大事で、委託業務の内容については費用も含め双方が定期的に協議して決めていくことだと思ふ。評価についても制度の中で必ず行うようになっている。これからも町内業者の育成、町内における展望

を含め、一つずつ業務内容について委託業者と協議し様々な問題解決に向けて取り組んで行く。サービス向上を目指し事業者と町は連携を密に業務を推進していく。



委託先が運営する佐賀町民館

漁協支援

更なる支援を

危機感を共有し 進める

問 様々な角度から支援、取り組みを実施しているが、漁協の厳しい経営が続いている。このままでは職員がいなくなる可能性がある。行政として、更なる支援はできないか問う。

答 今西海洋森林課長

漁業経営世帯数の減少や漁業生産量、販売額の減少、そして組合員の減少など歯止めがかからず



県漁協入野支所

組織運営、経営面でも大変厳しい状況が続いている。支援については県全体での組織運営体系であるため、漁村の置かれた厳しい状況や危機感を共有した上で県と協議を行い、検討を進めていく。漁協が働きやすい職場になるように漁協とも積極的に情報共有を図っていく。